

国語プリント No. ()

年 組 番 名前

配布日 月 日 曜

「宇治川の先陣」 群読コンテスト

平家物語「宇治川の先陣」の群読シナリオを作り、発表する。

【目的】「宇治川の先陣」の世界を群読で上手に表現する。

【目標】みんなで解釈と表現が一致した群読を作り上げる。

【授業の流れ】

- ① 「宇治川の先陣」の群読シナリオをグループで作成する。
- ② 群読練習（「あめ」も含む。）・中間発表
- ③ コンテスト

【詳細①】

各班に配布された用紙に「宇治川の先陣」の群読シナリオを記す。書き直す必要もあるので、鉛筆で書いてかまわない。ただし、コピーして配布するので、**濃く書くこと**。

《フォーマット》

- ・「宇治川の先陣」のどの部分を選んでかまわないが、すらすら読んで1分以上の群読にすること。（1分未満の場合は大幅減点の対象となる。）
- ・技法は「宇治川の先陣」の世界を表現するためなら自由に使用がかまわないが、必ず次のことは守ること。

◎言葉の繰り返しはOKだが、省略はNG。

◎次の3つの技法を必ず入れる。

A 漸増法

B 乱れ読み

C 追いか

◎右の3つの技法の部分にはその解釈と技法の関連の説明をしてもらう。（**シナリオ評価のポイント！**）

ポイント！

【詳細③】

「あめ」（規定演技）と「宇治川の先陣」（自由演技）の群読を発表する。

《評価のポイント》

- ・声の調和、大きさ、グループの間合い。
- ・技法を正確に演技できているか。（規定演技）
- ・シナリオと解釈がマッチしているか。（自由演技）
- ・演技時間。（宇治川の先陣は1分以上2分未満）



【技法の紹介】

《漸増法》

- A 園精舎の鐘の声、
- + B 諸行無常の響きあり。
- + C 娑羅双樹の花の色、
- + D 盛者必衰のことわりをあらはす。

《乱れ読み》

- A 遠く異朝をとぶらへば、
- S B C D 秦の趙高、漢の王莽、梁の朱异、唐の禄山、
(ばらばらに読み、何度も繰り返す)
- A これらは皆
- 全員 旧主先皇の政にも従はず、楽しみを極め、

《追いかけ》

- A これらはおごれる心もたけきことも、皆とりどりにこそありしかども、
- B これらはおごれる心もたけきことも、皆とりどりにこそありしかども
- C これらはおごれる心もたけきことも、皆とりどりにこそありかども、
- D これらはおごれる心もたけきことも、皆とりどりにこそありしかども、